

佐用町では、森林環境譲与税を活用して、

- ▶ 森林所有者の森林経営計画への参加を促進して、間伐施業地の拡大を図りました。
- ▶ 原木の集出荷施設「木材ステーションさよう」の設置により、住民による里山林等の森林整備を促進しました。
- ▶ 令和2年度に策定した佐用町森林ビジョンの普及啓発を行いました。
- ▶ 令和2年度に行った航空レーザー測量の成果を用いて森林情報の精緻化を行いました。
- ▶ 町有林の支障木伐採を行い、インフラ周辺の森林整備を行いました。
- ▶ 遠隔地から山林の観察等を行うため、職員が無人航空機の技術証明書を取得しました。

□ 事業内容

1 森林保全間伐促進事業

- ・ 森林経営計画により間伐を実施した森林所有者に対して、間伐面積1haにつき5万円を補助しました。

【事業費】 3,991千円（全額譲与税）

【実績】 98.01haの間伐が実施できました。

2 森林資源活用事業

- ・ 未利用木材の利活用及び住民による森林整備の促進のために設置した原木集出荷施設「木材ステーションさよう」を運営し、原木買取に1tあたり3,000円の地域商品券を上乗せしました。

【事業費】 1,041千円（全額譲与税）

【実績】 117tの原木の出荷がありました。

3 重要インフラ周辺森林整備業務

- ・ 町有地における、強風などが原因による倒木での電線の断線などにより、町内の工業団地内の停電などを未然に防止するため、支障木の伐採を行った。

【事業費】 1,403千円（全額譲与税）

【実績】 150㎡を伐採。



（事業3 施業地）

□ 基礎データ

①令和3年度譲与額	34,595千円
②私有林人工林面積（※1）	9,989.95ha
③林野率（※2）	81.0%
④人口（※3）	17,510人
⑤林業就業者数（※4）	18人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より

4 森林ビジョン啓発業務

- 令和2年度に策定した佐用町森林ビジョンを、森林所有者をはじめとする地域住民や林業事業体に普及・啓発を行った。

【事業費】3,498千円（全額譲与税）

【実績】定期的に、町内で事業を行う林業事業体などに参加してもらい、情報交換や林業情勢についての勉強会を実施した。また、普及啓発の一環として、森林ビジョン啓発動画を作成し、情報発信を行った。

5 森林管理システム基礎データ整備事業

- 森林整備事業の促進のために森林情報を精緻化するため、航空レーザー測量の実施による森林資源量等をはじめとする森林資源の解析や状況調査を行いました。

【事業費】32,670千円（うち譲与税24,386千円）

【実績】町内全域の森林資源解析、森林境界候補図の作成を行った。

6 無人航空機操作研修

- 災害時や、現場測量時などで現地に立ち入ることが困難な場所などに遠隔から森林の様子を確認できるようにするため、ドローン（無人航空機）の操作技術証明書を取得した。

【事業費】275千円（全額譲与税）

【実績】職員1名が取得。



（事業4 森林ビジョン啓発動画）



（事業5 森林境界候補図）



（事業5 森林林相図）